

令和 8 年度当初予算案の概要

福岡市財政局



目次

I 政策の推進	・・・ 1
1 次世代をはぐくみ、誰もが元気に暮らすまち	
2 都市インフラと歴史・文化を感じるまち	
3 防災など主要事業	
II 将来にわたり持続可能な財政運営の推進	・・・ 7
1 財源の確保	
2 アセットマネジメントの推進	
3 財政調整基金の活用と残高の確保	
4 市債残高の状況	
III 予算案の姿（概要）	・・・ 14

I 政策の推進

予算のコンセプト

都市経営の基本戦略である「都市の成長と生活の質の向上の好循環」を持続的なものとするため、もっと住み続けたいまちを目指し、子育てに携わる世帯の市内住替えへの支援をはじめとして、サポートを必要とする子どもたちへの支援、交通体系などの都市機能の充実、快適な生活環境づくり、防災など様々な分野において、暮らしやすさを実感できる施策を実施。

1 次世代をはぐくみ、誰もが元気に暮らすまち

⇒ 子育て世帯の市内住替えや三世代同居・近居を支援、学校給食費の無償化及び質の向上、市独自の教員配置、医療的ケアが必要な児童・生徒の宿泊行事参加を支援、日本人大学生の海外留学を応援、障がい者スポーツセンターの機能強化、生活にお困りの方への相談支援体制の強化

2 都市インフラと歴史・文化を感じるまち

⇒ 総合交通体系づくり、地下鉄七隈線車両増備及び6両編成化検討、道路の混雑緩和の推進、新天町街区の市街地再開発、那珂川沿いの魅力向上、Fukuoka Flower Showの開催、動植物園のリニューアル、鴻臚館の復元整備、福岡城天守の調査、海辺を活かした観光振興、よりクリーンで快適な公園づくり

3 防災など主要事業

⇒ 地域防災計画の全面的な見直し、民間建築物耐震化の促進、AI活用の推進、SNS人権侵害救済サポート

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

健やかなこどもの育成

★子育て世帯の市内住替えや三世帯同居・近居を支援

市内に住み続けたいと希望する子育て世帯を支援するため、市内での住替えや三世帯同居・近居に伴う住宅取得費や家賃、引越し費用等を助成
4億3,000万円（住都み）

★学校給食費の無償化及び質の向上

市立小・中・特別支援学校に通う児童生徒の給食の献立の充実や、質向上のための調理機器の導入
92億7,930万円（教育）
＜1人あたり食材料費＞ 小学校 5,000円 → 6,300円 【無償で提供】
中学校 6,000円 → 7,600円

★市独自の教員配置(小学校20人、中学校12人)

子どもの学びの質の向上のため、授業準備時間を十分確保できるよう、国の基準を超えて教員を配置
1億7,855万円（教育）

★グローバル人材育成のための英語教育強化のモデル実施

生徒の英会話力を高めるため、AIと即興的な会話を行えるAIアプリを導入
430万円（教育）

★不登校児童生徒の実態・支援ニーズ調査

大学等との協働により、不登校児童生徒等の実態・支援ニーズの調査を実施
470万円（教育）

★乳幼児家庭の一時的な預かりの拡充

多様な保育ニーズに対応するため、ベビーシッター派遣や日祝・夜間も含めた一時預かりの受け皿を拡大
2億4,753万円（こども）

★1歳児の保育の受け皿の拡大

保育ニーズの高い1歳児の受け皿を確保するため、一定条件のもと受入枠を拡大した保育所への補助を新設
6,048万円（こども）

★5歳児健診の拡大

昨年度開始した5歳児健診について、より多くの方が受診できるよう全区実施へ体制を拡充
4億8,780万円（こども）

★子どもプラザの増設

民間の幼稚園や保育所を活用し、乳幼児親子が気軽に交流や相談ができる遊び場を増設
2億5,371万円（こども）

★子ども食堂への支援拡充

子ども食堂実施団体への補助を拡充し、夏休み等学校の長期休業中の居場所づくりを支援
3,981万円（こども）

★放課後の体験・遊び・居場所づくりのモデル実施

小学生を対象に、学校で放課後に誰でも参加できる体験活動の機会や遊びを通じた居場所を提供
8,353万円（こども）

サポートを必要とする子どもたちやその家族の支援

★医療的ケア児の家族のレスパイトの拡充

医療的ケア児の家族の負担軽減を図るため、訪問看護等の費用助成拡充、相談支援体制の充実
1億2,409万円（こども）

★医療的ケアが必要な児童・生徒の宿泊行事参加を支援

医療的ケアが必要な児童・生徒が修学旅行等に安心して参加できるよう、訪問看護師の同行費用を支援
448万円（教育）

★医療的ケア児・重度障がい児の受入れ体制を強化

医ケア児・重度障がい児の常時受入れに向けて、看護師や保育士を確保する保育所等への補助を新設
6,306万円（こども）

★児童育成支援拠点の増設

家庭での養育にサポートが必要な子どもに、生活習慣の習得等の支援を行う拠点を東部エリアに新設
6,441万円（こども）

★巡回方式による通級指導を全校に展開

自閉症等により特別な支援を必要とする児童生徒に対する巡回指導を全小・中学校へ拡大
2,269万円（教育）

★産前・産後サポートの拡充

子どもプラザ等で乳児をもつ母親同士が交流しながらケアを受けられる産後ケアの場を創設
5億3,031万円（こども）

次代を担う若者の支援

★日本人大学生の海外留学を応援

福岡よかトピア国際交流財団が実施する
日本人大学生留学奨学金の対象者の拡大を支援

2,881万円 (総企)

☆様々な悩みや問題を抱える若者を支援

福岡市若者総合相談センター「ユースサポートhub」での
相談支援において中学3年生等へのアウトリーチを強化

6,333万円 (こども)

★市立高等専門学校の設置

令和11年4月の開校に向けたカリキュラム検討、
校舎整備にかかる設計等

9,267万円 (教育)

★ケアリーバーのための相談支援窓口を設置

社会的養護経験者等(ケアリーバー)の孤立を防ぎ、
相互交流や自立に向けた相談支援等を実施

1,895万円 (こども)

何歳でも元気に活躍し、誰もが安心して暮らしやすいまち

福岡100

★障がい者スポーツセンターの機能強化

老朽化が進む障がい者スポーツセンターについて、
移転建替による機能強化に向けた基本構想を策定

3,542万円 (福祉)

☆認知症ケア技法「ユマニチュード®」のさらなる推進

高齢者ケアに関する知見を共有するとともに、先進的に
実践する福岡市の取組みを発信する国際会議を開催

1億3,789万円 (福祉)

★重度障がい者の家族へのレスパイト支援

重度の医療的ケア者や強度行動障がいのある方の
家族の負担軽減のため、短期入所等の受け皿を拡大

1億9,695万円 (福祉)

☆福岡100プラザのリニューアルオープン

高齢者の社会参加の拠点として、施設改修やコーディ
ネーターの配置等により、新たなチャレンジを応援

4億2,912万円 (福祉)

★障がい者支援アプリの導入

障がい者やその家族が、障がい福祉サービス等の情報に
アクセスしやすくなるアプリを導入

955万円 (福祉)

☆オーラルケア28(にいのはち)プロジェクト

将来の要介護状態を予防するため、ガムを活用した
咀嚼への意識向上を図る「噛む活」を推進

5,276万円 (保医)

★障がいのある方への文化芸術鑑賞サポート

障がいのある方も安心して舞台鑑賞を楽しめるよう、
字幕や音声ガイド等の鑑賞サポートの取組みを支援

453万円 (経観文)

★小中学生向け介護の仕事体験イベントの実施

介護職の魅力子どもたちに知ってもらうため、
小中学生が楽しく学べる介護体験イベントを実施

500万円 (福祉)

☆生活にお困りの方への相談支援体制の強化

生活自立支援センターの分室を全区に設置し、
生活にお困りの方への相談支援を実施

7,067万円 (福祉)

☆動物愛護管理センター基本構想の策定

老朽化が進む動物愛護管理センターについて、
動物福祉や市民の利便性向上に向けた基本構想を策定

982万円 (保医)

☆市民病院の移転整備に向けた基本構想の策定

市民病院について、
福岡中学校への移転整備に向けた基本構想を策定

2,918万円 (保医)

★高齢者の元気の維持・回復を支援

心身の機能低下への早期アプローチ・継続支援の仕組み
検討、介護事業所における重度化防止の取組み推進

2,389万円 (福祉)

★：新規 ☆：拡充

都市交通を次のステージへ

★総合交通体系づくり

総合交通体系づくりに係る調査・検討や
貝塚線との直通運転化、井尻駅周辺の連続立体交差化、
地下鉄延伸(空港、姪浜橋本間)の実現可能性の検討

2,500万円 (住都み交通)

☆地下鉄七隈線車両増備及び6両編成化検討

地下鉄七隈線の混雑緩和策として、
令和8年度から9年度で計4編成を増備するとともに、
6両編成化に向けた検討を実施

30億2,059万円 (交通)

☆道路の混雑緩和の推進

福岡市駐車場ナビの博多駅地区への拡大、
道路ネットワークの整備やボトルネック交差点の改良等

21億2,780万円 (道下)

☆生活交通の運行エリア拡大

公共交通不便地等での生活交通確保に向け、
取組みを新たな地域へ拡大(10エリアで運行開始)

1億8,016万円 (住都み)

☆都心部における交通マネジメント施策の推進

フリンジパーキングの利用促進のため、
更なる利便性向上の取組みを実施

3,099万円 (住都み)

★ミッドナイト・トレインの実施

地下鉄利用者の利便性向上のため、金曜日に実施中の
営業時間延長を、日曜・祝日以外の全ての曜日で実施

4,052万円 (交通)

都心部等のまちづくり

天神ビッグバンなど都心部のエリアプロモーション

先進的なビルの開業のタイミングを捉え、
企業誘致と連動したプロモーションを実施

2,920万円 (住都み)

★新天町街区の市街地再開発

公共性の高い基盤整備(商店街通路)を伴う
事業への支援

9,700万円 (住都み)

★メルヘン通り地下通路の整備

地下鉄天神駅ときらめき通りをつなぐ
新たな公共地下通路の設計への支援

9,600万円 (住都み)

☆那珂川沿いの魅力向上

Park-PFIによる清流公園の供用開始、
護岸のライトアップ、イベントによる賑わいづくり

6,578万円 (住都み
経観文)

九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくり

土地区画整理事業や周辺道路等の基盤整備、
令和9年供用開始に向けた自由通路の整備、
「Fukuoka Smart East」の推進に向けた取組み

47億7,048万円 (住都み
道下)

☆ウォーターフロント地区再整備の推進

港湾の人流機能の再編等を契機とした
まちづくりの将来像やMICE機能強化の検討等

9,365万円 (住都み
経観文
港空)

新たな価値を生み出すまち

アート

FaN
Fukuoka Art Next

☆福岡アジア美術館の魅力向上

警固公園地下への施設拡充にかかる基本設計、
令和9年度の大規模国際展に向けた調査等

2億1,760万円 (経観文)

☆Artist Cafe Fukuokaの機能強化

アーティストの成長・交流拠点の運営や、
展示・交流機能強化に向けた整備

2億2,069万円 (経観文)

☆ソーシャルスタートアップ成長支援

社会課題解決を目指すスタートアップの経営基盤強化
にかかる支援、更なる成長に向けた伴走支援を実施

3,969万円 (経観文)

☆半導体関連産業の振興

半導体関連企業の誘致や企業・人材の交流促進
に向けた支援、イベント等の実施

523万円 (経観文)

☆ボートレース福岡パーク化

スケートボードパークやイベント広場の整備・管理運営
(R8年10月供用開始予定)

6億8,736万円 (経観文)

花と緑があふれるまち

★都心の森1万本プロジェクト

市役所本庁舎や公共施設等の緑化推進、集合住宅のベランダや都心部のオフィスビル等への緑化助成

10億7,415万円 (住都み)

★Fukuoka Flower Showの開催

花をテーマとしたMICEとして「Fukuoka Flower Show 2027」を開催

9,013万円 (住都み)



★動植物園のリニューアル

市民に親しまれる魅力的な動植物園へのリニューアルとして、トラ・ライオンエリアの基本設計に着手

8,318万円 (住都み)

★今宿野外活動センターのリニューアル

令和9年3月のリニューアルオープンに向け、施設改修等を実施

6億3,876万円 (市民)

自然や歴史等を活かしたまち

★鴻臚館の復元整備

鴻臚館の復元整備工事(東門:R8年10月完成)及び展示館のリニューアル(R9年3月OPEN)

12億3,241万円 (経観文)

★博多旧市街プロジェクト

冷泉小跡地における伝統継承施設の基本計画策定、出来町公園休憩・観光案内スペースの整備着手等

2億6,101万円 (経観文 道下)



★ストーリーを持たせた道路整備の推進[舞鶴公園エリア]

舞鶴公園エリアの明治通りの歩道を、公園内の景観と調和した歴史を感じる歩道に再整備

4億9,200万円 (道下)

★博物館のリニューアル推進

南側広場整備工事の実施(R8年10月供用開始)、PFI事業者の選定等

13億8,699万円 (経観文)

福岡城天守の調査

福岡城のかつての状況を確認するため、天守の文献調査や発掘調査等を継続

6,034万円 (経観文)

★海辺を活かした観光振興

北崎エリアの道づくり及び立ち寄りスポットの整備

2億6,096万円 (経観文・道下)



箱崎地区における元寇防塁展示施設等の検討

まちづくりとの調和を図りつつ、元寇防塁の成り立ちや役割を学ぶことができる施設や広場の整備を検討

2,712万円 (経観文)

★観光と市民生活の調和

混雑緩和に向けた「手ぶら観光」や外国人観光客へのマナー啓発等の強化

9,686万円 (経観文)

環境にやさしく快適なまち

★小型充電式電池等の回収拠点を拡大

モバイルバッテリーやハンディファンなどリチウムイオン電池が使われている製品の回収体制の強化

2,642万円 (環境)

★民間施設への次世代型太陽電池の導入支援

ペロブスカイト太陽電池の導入にあたり市内事業者が行う実証実験への補助を拡充

2,000万円 (環境)

★小学校リサイクルチャレンジ

児童がリサイクルについて学ぶとともに、雑がみと廃食用油を回収する実践的イベントを実施

179万円 (環境)

★よりクリーンで快適な公園づくり

身近な公園における除草等管理の充実トイレの洋式化推進・清掃頻度の増加

1億3,611万円 (住都み)

★プラスチック分別回収の開始

令和9年2月の回収開始に向けた効果的な回収・リサイクル体制の構築、市民への広報啓発

4億5,695万円 (環境)

★より安全で快適な道路環境整備

道路の区画線の引き直しや歩道のがたつき対策の実施

7億 364万円 (道下・港空)

災害に強いまちづくり

★地域防災計画の全面的な見直し

更なる実効性の向上や新たな被害想定等を踏まえ、ハード・ソフト両面から防災対策を検証し計画に反映
2,268万円 (市民)

(関連事業)新たな地震被害想定に対する応急対策

発災直後に必要となる公的備蓄の確保や家庭内備蓄等の啓発強化を実施
4億9,253万円 (市民)

★水道・下水道の安全・災害対策

老朽配水管の耐震管への更新(R8完了)、「雨水整備Doプラン2026」(R8完了)等の推進
366億1,078万円 (水道道下)

★民間建築物耐震化の促進

住宅の耐震改修等への補助を実施するとともに、耐震診断やブロック塀除却等への補助を拡充
2億3,481万円 (住都み)

道路陥没対策の強化

道路陥没事故の未然防止のため、路面下の空洞調査の拡大及び補修を実施
4億7,321万円 (道下)

人とAI・DXがつくるぬくもりのまち

★AI活用の推進

市情報サイトへの生成AIチャットボット搭載やAI電話の導入、高校生・高齢者向け生成AI活用講座の実施等
6,372万円 (総企福祉教育)

★教員を対象とした生成AI活用研修

全教員対象に、生成AIの効果的活用の研修を実施し、業務の効率化及び授業改善を推進
968万円 (教育)

★消防団・民生委員活動へのアプリ導入

消防団活動の効率化や事務負担軽減、民生委員活動のサポートのためアプリを導入
2,756万円 (消防・福祉)

★郵便局でマイナンバーカードの電子証明書更新等手続き開始

市内36郵便局で更新等手続きを順次開始(9月、12月、3月に12局ずつ開始)
4億9,179万円 (市民)

★SNS人権侵害救済サポート

SNS等の人権侵害の被害に対し、チャットボットによる24時間相談窓口、法的手続きサポート、弁護士無料相談
1,213万円 (市民)

地域の産業と働く人を応援するまち

★中小企業等で働く従業員の奨学金返還を支援

従業員への奨学金返還支援を行う中小企業等に対する助成により、人材確保と定着を支援
3,587万円 (経観文)

★地産地消の推進

福岡市内産の農水産物を学校給食へ提供するとともに、児童生徒向けに地産地消を推進する動画を作成
2億375万円 (農水)

★農業機械の導入支援

市内の農家等に対して、トラクター等の大型機械やドローン等のスマート農業機械の導入を支援
2,850万円 (農水)

★鮮魚市場の活性化

旧東冷蔵庫棟を活用した活性化施設の事業者公募を実施
2,419万円 (農水)

コミュニティ施策の推進

★東・南・早良区役所の更新検討

築54年を経過する3区役所について、将来的な更新に向けた検討に着手
2,301万円 (市民)

★街頭防犯カメラの補助拡充

地域が設置する街頭防犯カメラの設置費補助に加え、新たに維持管理費の一部補助を開始
6,670万円 (市民)

南区における地域交流センターの検討

基本計画や周辺交通対策の検討、整備予定地の造成設計、周辺道路の歩道整備や交差点改良等の検討
7,569万円 (市民道下)

★DXによる公民館の利便性向上

スマートフォン等で解錠できるスマートロックの試験導入、諸室使用料の二次元バーコード決済の導入等
1,282万円 (市民)

Ⅱ 将来にわたり持続可能な財政運営の推進

1 財源の確保

「財政運営プラン」の取組みの方向性を踏まえ、市民生活に必要な行政サービスを安定的に提供しつつ、生活の質の向上と都市の成長のために必要な施策を着実に推進していくため、「歳入の積極的な確保」や「アセットマネジメントの推進」などの取組みを進めることとし、令和8年度当初予算においては約70億円の財源を確保しました。

財源確保総額 70億円

(単位：億円)

歳入の積極的な確保

32

① 市税及び税外債権の確保

10

適正課税の推進

10

など

② その他歳入の確保

22

ふるさと納税寄付の確保

10

未利用地の売却・貸付など市有財産の有効活用

7

基金の一括運用による利子収入の確保

4

など

(単位：億円)

アセットマネジメントの推進

21

老朽化に伴う施設更新と併せZEB化を推進し、国補助金等を最大限活用

20

道路照明灯・公園照明灯のLED化による電気料削減

0.2

など

行政運営の効率化など

17

新たな県補助金の確保

5

教育情報ネットワークの統合等による効率化

4

データ分析による救急車の効率的な配置

0.9

など

救急隊の増隊費用をかけることなく、救急車の現場到着時間を短縮

2 アセットマネジメントの推進

市民が市有施設を安全・安心に利用できるよう維持し、良質な公共サービスを持続的に提供していくため、「福岡市アセットマネジメント基本方針」に基づき、施設の状況等に応じた適切な維持管理を推進します。

アセットマネジメントの推進にあたっては、計画的に施設の改修・修繕等を実施することで、安全性や利用者満足度を確保しつつ、施設を長寿命化するなど、長期的な観点から施設に要する費用の縮減を図ります。

(1) アセットマネジメント事業費（予算額）の推移

(単位：億円)

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	対前年度 増減額（伸率）	対令和4年度 増減額（伸率）
一般会計	652	720	765	862	952	+90 (+11%)	+300 (+46%)
全会計	1,203	1,234	1,384	1,578	1,760	+182 (+12%)	+557 (+46%)

※国予算関連の2月補正予算における前倒しを含む ※億円未満を四捨五入しており計算が一致しない場合がある

(2) 令和8年度の主な取組み（一般会計のうち規模の大きなもの）

①施設の長寿命化・機能維持

施設を目標耐用年数まで使用するために必要な設備などの改修や、施設の性能を継続的に維持するために行う修繕等

- ・ **学校の校舎等の長寿命化改良【68億8,376万円※】(教育)**
学校施設長寿命化計画に基づく学校の外壁や設備等の改修（23校）
- ・ **市民センター施設整備【29億9,260万円】(市民)**
中央市民センターの大規模改修等
- ・ **スポーツ施設改修【20億1,812万円】(市民)**
早良体育館、東市民プールの外壁や屋上防水、設備の改修等
- ・ **市営住宅の長寿命化【19億4,407万円】(住都み)**
市営住宅ストック総合活用計画に基づく市営住宅の外壁や屋上防水の改修
- ・ **道路の舗装修繕【25億3,395万円※】(道下)**
道路施設アセットマネジメント個別施設計画に基づいて舗装の健全性を保つための修繕等
- ・ **橋梁の長寿命化【15億円※】(道下)**
道路施設アセットマネジメント個別施設計画に基づいて橋梁の健全性を保つための修繕
- ・ **河川施設の護岸工事等【11億3,273万円※】(道下)**
弁天川護岸改修等

※令和8年2月補正予算における前倒しを含む

②施設の機能充実・向上

社会情勢や市民ニーズに応じた機能充実及び安全性向上のために行う改修等

- ・ **学校の校舎及び附帯施設等整備【88億6,734万円※】(教育)**
学校の便所改造（洋式化）や空調機更新等
- ・ **市営住宅の改善【17億2,439万円】(住都み)**
ユニバーサルデザインの推進やエレベーターの改修等
- ・ **消防学校機能強化【9億2,564万円】(消防)**
教育訓練施設の整備

③施設の建替・更新

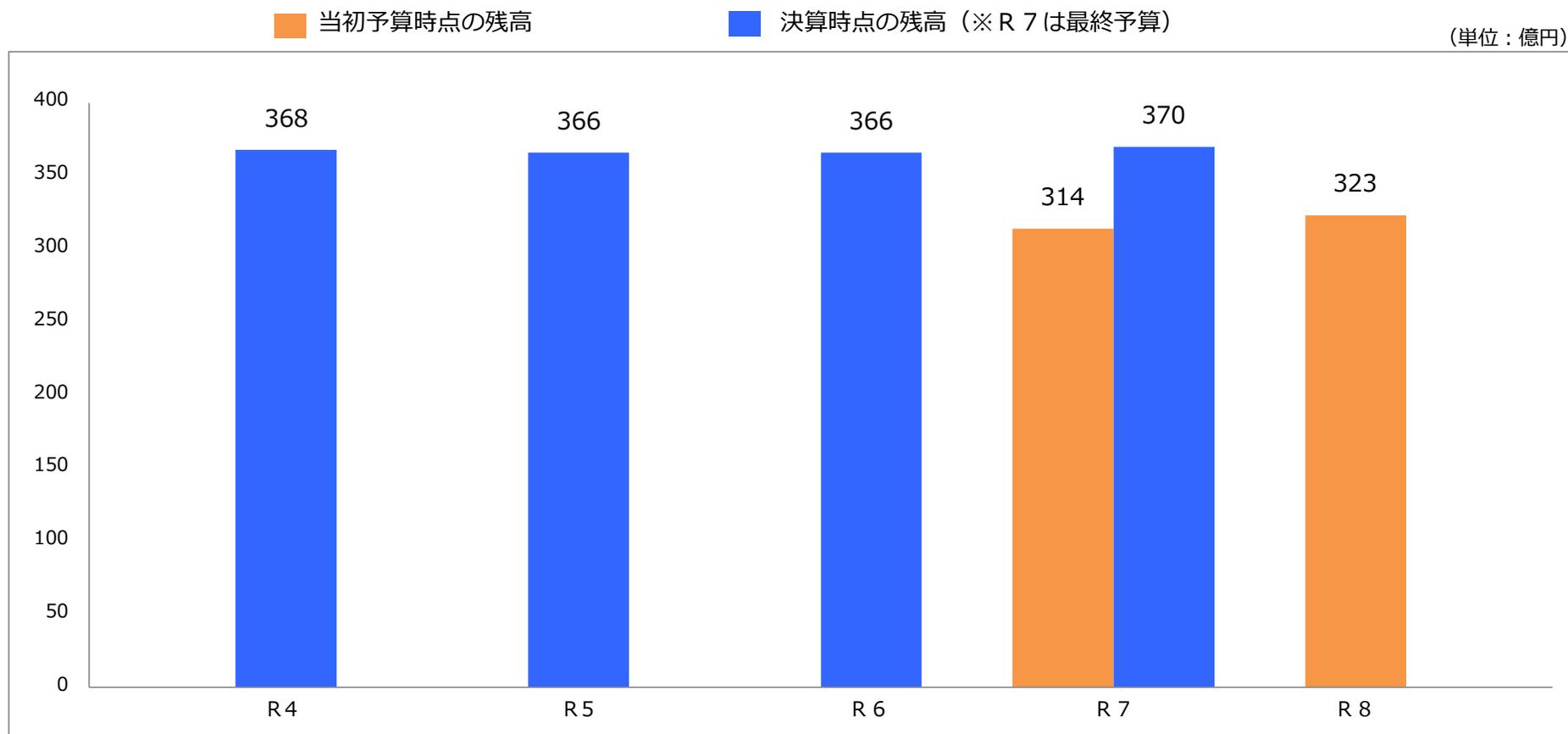
施設の設置目的や役割を十分果たすために必要な建替・更新

- ・ **市営住宅の建替【109億6,716万円】(住都み)**
老朽化した市営住宅の建替（下山門住宅など）
- ・ **放課後児童クラブ施設増改築【14億2,653万円】(教育)**
放課後児童クラブ施設の増改築（5校）
- ・ **公園再整備【20億486万円】(住都み)**
公園施設長寿命化計画に基づく公園の再整備（30公園）

3 財政調整基金の活用と残高の確保

- ・ 社会情勢の変化や新たな課題への対応、重点事業をはじめ特に取組みを強化すべき施策・事業の推進のための財源を確保するため、令和8年度当初予算においても財政調整基金を活用します。
〔当初予算編成時の取り崩し額 R8：50億円、R7：45億円、R6：50億円、R5：50億円、R4：73億円〕
- ・ 一方で、今後、大規模災害等が発生した場合に、迅速に対応できるよう、8年度末見込において323億円の残高を確保しています。

<財政調整基金の残高の推移>



4 市債残高の状況

(1) 市債発行額の見込み

① 市債発行額（一般会計）

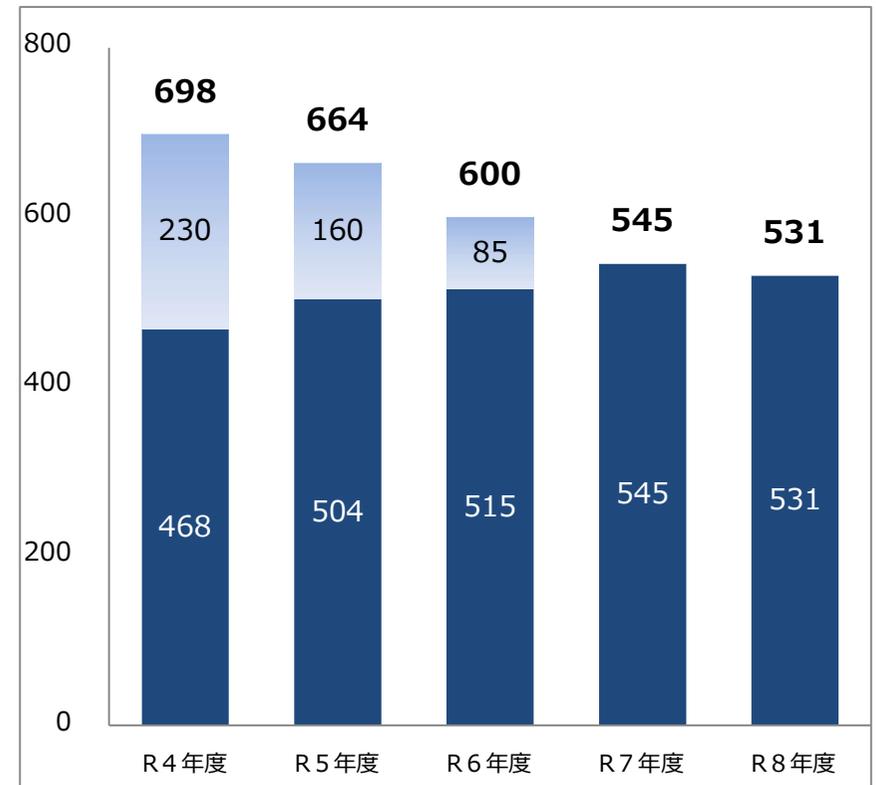
- ・ 市債発行額は減少（▲14億円）
- ・ 臨時財政対策債は、引き続き新規発行額ゼロ

	令和7年度	令和8年度	増減額
市債発行額	545億円	531億円	▲ 14 億円
うち通常債	545億円	531億円	▲ 14 億円
うち臨時財政対策債	—	—	—

② 市債発行額（一般会計）の推移

市債発行額の推移（一般会計・当初予算額）

■ その他の市債 ■ 臨時財政対策債
 (単位：億円)



(2) 市債残高の縮減

① 令和8年度末市債残高の状況

- ・ 一般会計は令和7年度末と比べ縮減（▲290億円）
- ・ 全会計でも令和7年度末と比べ縮減（▲442億円）
- ・ 全会計でピーク時より8,718億円縮減（▲33.7%）

(単位：億円)

	H16年度 年度末残高	R7年度	R8年度			差引き (B) - (A)
		年度末残高 (A)	新規発行	市債償還	年度末残高 (B)	
一般会計	12,928	10,672	531	▲ 821	10,382	▲ 290
全会計	25,882	17,606	926	▲ 1,369	17,164	▲ 442

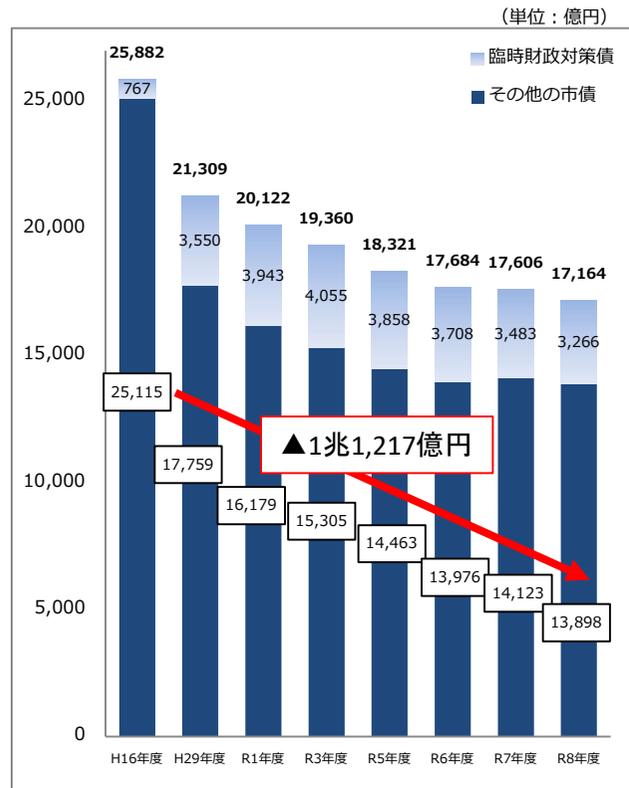
※億円未満を四捨五入しており計算が一致しない場合がある。

※満期一括積立金（満期一括償還のために既に償還財源を市債管理基金に積み立てたもの）を除く。

②市債残高の推移

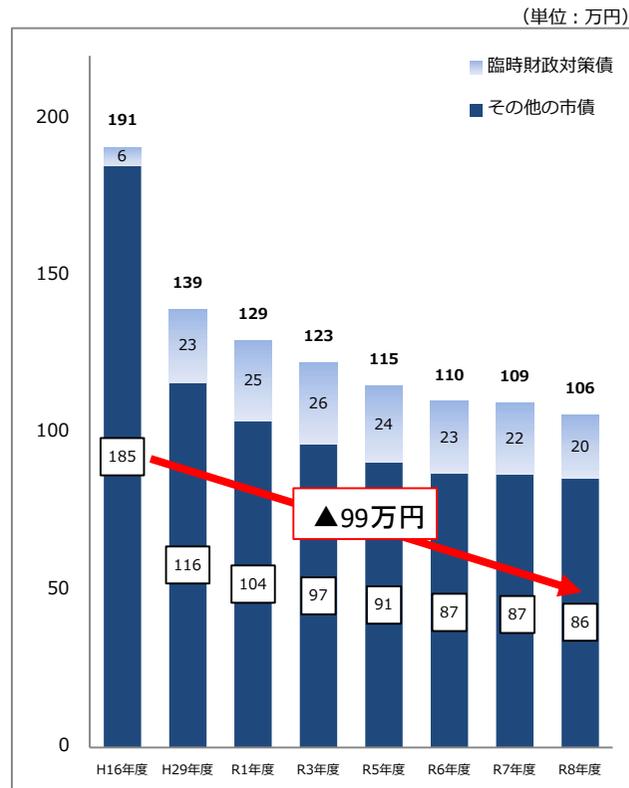
令和8年度末の全会計市債残高見込額から、国が償還額の全額を地方交付税措置する臨時財政対策債の残高見込額を除いた額は、ピーク時の平成16年度末から1兆1,217億円減少し、1兆3,898億円となります。また、その市民一人当たり市債残高見込額は、平成16年度末から99万円減少し、ピーク時の半分を下回っています。(86万円)

市債残高の推移（全会計）



※令和6年度までは決算ベース、令和7年度は2月補正後(繰越明許費の反映なし)、令和8年度は当初予算ベース
 ※満期一括積立金を除く

市民一人当たり市債残高の推移（全会計）



※令和6年度までは決算ベース、令和7年度は2月補正後(繰越明許費の反映なし)、令和8年度は当初予算ベース
 ※令和6年度までは各年度末時点の登録人口ベース、令和7・8年度は令和7年12月末時点の登録人口ベース
 ※満期一括積立金を除く

令和8年度末の市債残高見込額

- 一般会計
1兆 382億円 (▲ 290億円)
- 特別会計
1,008億円 (▲ 44億円)
- 企業会計
5,773億円 (▲ 108億円)
- ◇ 全会計
1兆7,164億円 (▲ 442億円)

※ () は令和7年度末の市債残高見込額との差
 ※ 満期一括積立金を除く

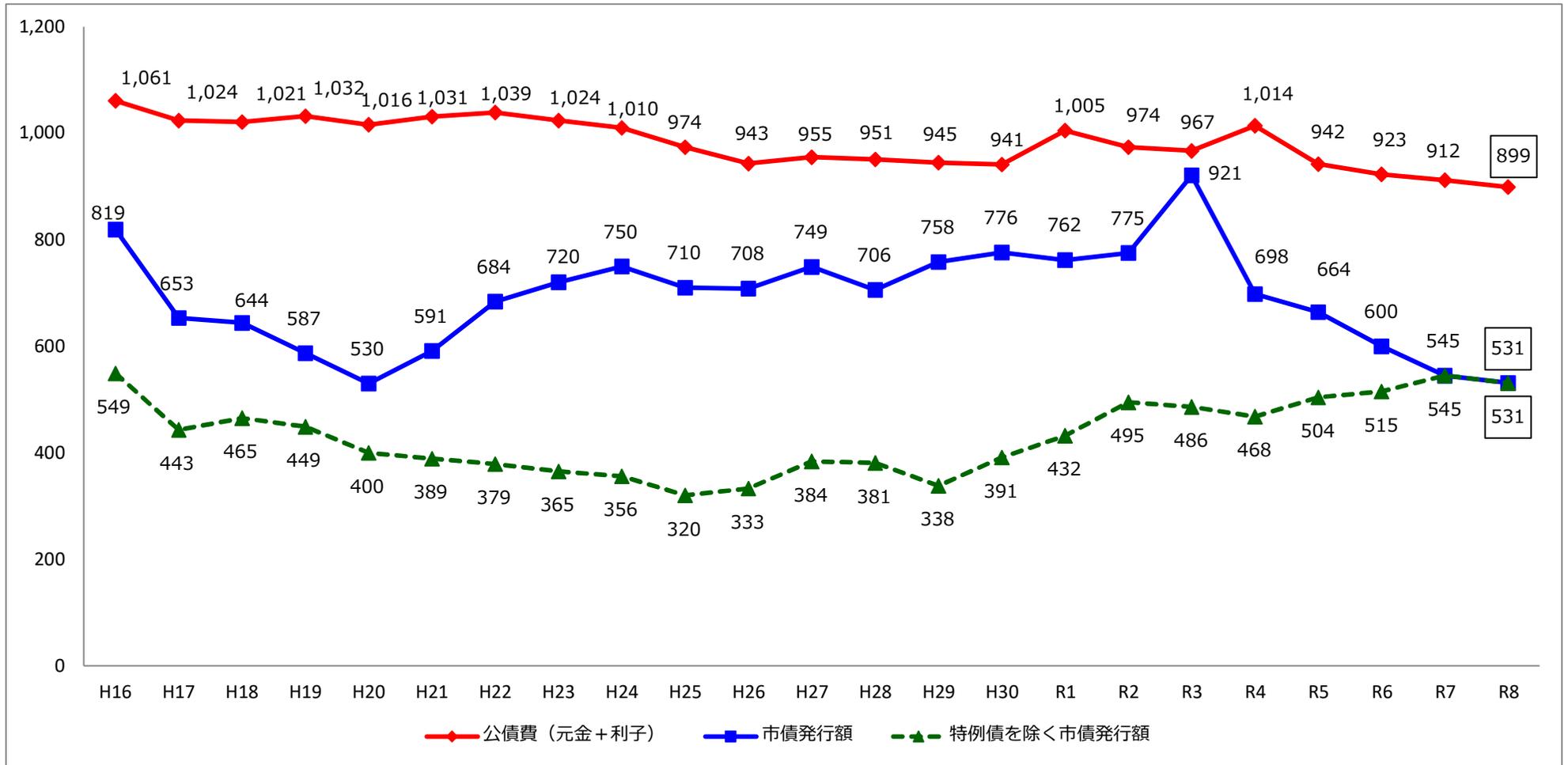
市債残高の割合（令和8年度末見込）



<参考> 市債発行額と公債費の状況（一般会計）

～市債発行額と公債費の推移（当初予算額）～

(単位：億円)



※特例債：後年度に地方交付税で措置される特例的に発行が認められた市債（臨時財政対策債、減税補てん債（H16～18））

Ⅲ 予算案の姿（概要）

1 予算規模

- ・ 一般会計は、教職員定数の増や学校給食の質の向上等による教育費の増、保育士の処遇改善等によるこども育成費の増をはじめ、社会保障関係費の増加により、過去最大規模 +1.7%
- ・ 全会計合計は、前年度を上回る +2.5%

※以下、詳細は別添資料「令和8年度当初予算案計数資料」参照。億円未満は四捨五入しており合計が一致しない場合がある。

区 分	令和7年度	令和8年度	増減額	伸率
一般会計	1兆1,128億円	1兆1,318億円	190 億円	1.7%
特別会計	6,674億円	6,919億円	245 億円	3.7%
企業会計	3,541億円	3,630億円	90 億円	2.5%
合 計	2兆1,343億円	2兆1,867億円	524 億円	2.5%

2 一般会計の状況

(1) 一般財源の状況 (概要)

項目	令和7年度	令和8年度	増減額	伸率
市税	4,035億円	4,263億円	229 億円	5.7%
個人市民税	1,498億円	1,582億円	84 億円	5.6%
法人市民税	413億円	446億円	34 億円	8.2%
固定資産税	1,528億円	1,614億円	87 億円	5.7%
地方譲与税	70億円	67億円	▲ 3 億円	▲ 4.8%
交付金	605億円	627億円	21 億円	3.5%
法人事業税交付金	59億円	62億円	3 億円	5.7%
地方消費税交付金	461億円	496億円	35 億円	7.6%
地方特例交付金	18億円	51億円	32 億円	179.2%
地方交付税	495億円	435億円	▲ 60 億円	▲ 12.1%
その他	145億円	157億円	12 億円	8.4%
合計	5,369億円	5,600億円	231 億円	4.3%

※ 平成26年度及び令和元年度の消費税率引き上げによる増収分<257億円>は社会保障関係費<3,727億円>に充当

(1) 一般財源の状況 (ポイント)

<総 額> 5,600億円 (+231億円)

<市 税> 4,263億円 (+229億円)

- ・ 個人市民税は納税義務者や給与収入の増加等により、+84億円 (+5.6%)
- ・ 法人市民税は企業収益の増加等により、+34億円 (+8.2%)
- ・ 固定資産税は地価の上昇や新增築家屋の影響等により、+87億円 (+5.7%)

<地方消費税交付金> 496億円 (+35億円)

- ・ 地方消費税収入額の増により、+35億円 (+7.6%)

<地方特例交付金> 51億円 (+32億円)

- ・ 軽油引取税減収補填等により、増加

<地方交付税> 435億円 (▲60億円)

- ・ 市税収入の増加等により、減少

(2) 性質別歳出の状況 (概要)

項目	令和7年度	令和8年度	増減額	伸率
人件費	1,654億円	1,778億円	124 億円	7.5%
扶助費	2,994億円	3,084億円	89 億円	3.0%
公債費	912億円	899億円	▲ 13 億円	▲ 1.5%
義務的経費 計	5,560億円	5,760億円	200 億円	3.6%
物件費	1,309億円	1,398億円	90 億円	6.9%
補助費等	546億円	554億円	8 億円	1.4%
普通建設事業費	1,035億円	1,099億円	65 億円	6.3%
補助事業費	394億円	446億円	52 億円	13.3%
単独事業費	641億円	653億円	12 億円	1.9%
維持補修費	137億円	145億円	8 億円	5.9%
貸付金	1,767億円	1,567億円	▲ 200 億円	▲ 11.3%
繰出金	680億円	704億円	24 億円	3.5%
その他	95億円	91億円	▲ 5 億円	▲ 5.0%
合 計	1兆1,128億円	1兆1,318億円	190 億円	1.7%

(2) 性質別歳出の状況 (主な増減)

義務的経費 5,760億円 (+200億円)

<人件費> 1,778億円 (+124億円)

教職員給与等 (+44億円)、退職手当 (+44億円)、会計年度任用職員給与等 (+20億円)

<扶助費> 3,084億円 (+89億円)

就学前児童の教育・保育に係る給付費 (+49億円)、

障がい福祉サービス (在宅・施設・グループホーム等) (+48億円)、

障がい児施設給付費等 (+18億円)、物価高騰緊急支援給付金 (▲50億円)

<公債費> 899億円 (▲13億円)

元金 (▲25億円)、利子 (+12億円)

義務的経費以外

<普通建設事業費> 1,099億円 (+65億円)

アイランドシティ地区新設中学校の整備 (+46億円)、市営住宅の建替え等 (+41億円)、

生活道路等の整備・修繕 (+10億円)、マリンメッセ福岡 A 館の大規模改修 (▲21億円)

<貸付金> 1,567億円 (▲200億円)

商工金融資金預託金 (▲199億円)

(3) 目的別歳出の状況 (概要)

項目	令和7年度	令和8年度	増減額	伸率
総務費	684億円	739億円	55億円	8.1%
こども育成費	1,681億円	1,777億円	96億円	5.7%
保健福祉費	2,606億円	2,635億円	29億円	1.1%
環境費	327億円	357億円	30億円	9.3%
農林水産業費	84億円	96億円	12億円	14.5%
経済観光文化費	1,994億円	1,751億円	▲ 242億円	▲ 12.2%
土木費	484億円	551億円	67億円	13.9%
都市計画費	502億円	523億円	21億円	4.2%
港湾空港費	102億円	101億円	▲ 1億円	▲ 0.3%
消防費	198億円	209億円	11億円	5.4%
教育費	1,529億円	1,654億円	125億円	8.2%
公債費	915億円	902億円	▲ 14億円	▲ 1.5%
その他	23億円	22億円	▲ 1億円	▲ 0.4%
合計	1兆1,128億円	1兆1,318億円	190億円	1.7%

(3) 目的別歳出の状況（主な項目）

＜こども育成費＞ 1,777億円（+96億円）

（主な増減）

就学前児童の教育・保育に係る給付費（+49億円）、障がい児施設給付費等（+18億円）、民間保育所等への食費支援（+3億円）、医療的ケア児とその家族への支援（+1億円）

＜保健福祉費＞ 2,635億円（+29億円）

（主な増減）

障がい福祉サービス（在宅・施設・グループホーム等）（+49億円）、医療・介護関連の繰出金・負担金（+17億円）、医療的ケア児・者の短期入所等の受け皿確保（+1億円）、物価高騰緊急支援給付金（▲60億円）

＜経済観光文化費＞ 1,751億円（▲242億円）

（主な増減）

鴻臚館の復元整備（+6億円）、商工金融資金預託金等（▲203億円）

＜教育費＞ 1,654億円（+125億円）

（主な増減）

アイランドシティ地区新設中学校の整備（+46億円）、教職員給与等（+45億円）、学校給食の質の向上（+19億円）、校舎増築（+13億円）

※学校給食費は、上記のほか無償化の通年化に伴い、1学期分相当額として関連歳入（保護者負担）が減となる（▲15億円）。

3 特別会計の状況（概要）

項目	令和7年度	令和8年度	増減額	伸率
後期高齢者医療	273億円	327億円	54億円	19.8%
国民健康保険事業	1,448億円	1,455億円	7億円	0.5%
介護保険事業	1,279億円	1,316億円	37億円	2.9%
中央卸売市場	68億円	58億円	▲10億円	▲15.2%
港湾整備事業	168億円	225億円	58億円	34.5%
市営渡船事業	18億円	28億円	10億円	53.7%
貝塚駅周辺 土地区画整理事業	25億円	19億円	▲6億円	▲24.1%
市債管理	3,369億円	3,467億円	98億円	2.9%
その他	26億円	24億円	▲2億円	▲8.9%
合計	6,674億円	6,919億円	245億円	3.7%

3 特別会計の状況（主な増減）

<後期高齢者医療>

327億円（+54億円）

広域連合納付金（+55億円）

<国民健康保険事業>

1,455億円（+7億円）

保険事業費納付金（+9億円）

<介護保険事業>

1,316億円（+37億円）

保険給付費（+34億円）

<港湾整備事業>

225億円（+58億円）

基金積立金（+82億円）、公債費元金（▲14億円）

<市債管理>

3,467億円（+98億円）

公債費元金（+44億円）、高速鉄道事業に係る新発債（+48億円）

4 企業会計の状況（概要及び主な増減）

<モーターボート競走事業> 開催収益（▲27億円）、建設改良費（▲31億円）

<下水道事業> 企業債償還金（+44億円）

<水道事業> 建設改良費（+9億円）、企業債償還金（+4億円）

<高速鉄道事業> 建設改良費（+60億円）、運輸収益（+28億円）

項目	令和7年度	令和8年度	増減額	伸率
モーターボート競走事業	848億円	791億円	▲57億円	▲6.7%
集落排水事業	7億円	7億円	0億円	5.4%
下水道事業	1,166億円	1,212億円	46億円	3.9%
水道事業	691億円	710億円	18億円	2.6%
工業用水道事業	6億円	4億円	▲2億円	▲33.2%
高速鉄道事業	822億円	906億円	84億円	10.2%
合計	3,541億円	3,630億円	90億円	2.5%